

デジタルものづくり体験事業実施業務 企画提案仕様書

当該企画運営業務の企画提案にあたっては、以下の内容を踏まえ、提案すること。

1 デジタルものづくり体験事業の運営内容について

(目的)

本市における将来的な I T (デジタル) 人材の裾野拡大ならびに I T (デジタル) 分野全般に渡るレベルの底上げを図る。

(1) 業務内容

市内のプログラミングなど、デジタルの分野に興味のある中学生や、レベルアップを図りたい高校生(高専生)を対象に、デジタルスキル等を活用しながら課題解決に取り組むことができる内容とする。

参加者が地域課題解決につながる成果物を作成し、プログラムの最後に成果発表を行うこと。

○ 以下は、本事業の主な内容の参考として例示したものです。

- ・プログラミングの技術や知識を駆使しながら、アプリ、音楽や映像等のコンテンツを作成し、豊かな発想力を鍛える講座
- ・解決すべき課題を設定(地域課題など)し、デジタルスキルを駆使して解決するなど

○ 参加者数：中学生および高校生、20名以上とする。

(2) 開催日程等

開催日程および回数は、業務委託契約日から令和8年3月31日までの期間内で、下記のとりの回数とする。

ア 開催日は土日祝日を主体とする。ただし、参加対象者の長期休業期間については、この限りではない。

イ **デジタルものづくり体験教室**は、2日～3日間の短期集中講座(連続が望ましい)とする。集中講座に向けた、事前の課題設定は可能とする。

(3) 会場

ア 会場は、はこだてみらい館で実施することを基本とするが、はこだてみらい館以外の会場で実施することで、より効果的に事業を実施することが可能と見込まれる場合は、その会場を確保し実施すること。

なお、はこだてみらい館シアターの使用可能な日程を次ページに提示していますが、あくまでも公募開始段階での予定のため、状況により使用できないことがあります。受託者決定後に再度打ち合わせを行ってください。

※ 会場使用に係る経費(会場使用料)については、はこだてみらい館の使用料、

本事業のスタッフ，参加者の入館料のみ減免。

【使用可能日（シアターのみ）】あらかじめ市で仮押さえしている日程です。

令和7年 9/13（土），9/14（日），9/15（月），10/4（土），10/5（日），
11/22（土），11/23（日），11/24（月）

※ 講座開催にあたり，必要な機材は原則，事業者が用意すること。

ただし，不測の事態により準備できない場合には，前もって市およびはこだてみらい館へ申し出ること。その場合において，はこだてみらい館より WindowsPC 数台を貸与可能な場合がある。

イ 原則として，対面で開催すること。（特別な事情が無い限りオンライン開催不可）

（4）告知，宣伝方法

委託契約期間内において，随時，新規参加者の獲得を図るなど，当該教室および講座への集客につながる告知・宣伝方法について提案すること。

※ 市が実施するセミナー等の周知について，受託者はこれに協力するものとする。

（5）運営体制

当該教室および講座の運営にあたり，受託者は「運営に係る業務」を処理することとし，これらを踏まえたスタッフ配置など，当該教室および講座の運営体制について提案すること。

学習補助員は，デジタルスキルの指導，グループワークのファシリテーション，作品のプレゼンテーション指導などに係る累計 100 時間程度の研修を受けた専門性を有すること

講師や運営スタッフ，学習補助員は，多数の対自治体・学校等教育機関向けに同等プログラムの納品実績を有すること

また，学習補助員には，在学中や卒業後にプログラミング等に係る大会での受賞や，起業，大手 IT 企業への就職など，参加者の進路検討にとってロールモデルとなる実績を有する者が含まれること。

講師や運営スタッフに加えて，参加者 5～6 名に 1 人の学習補助員が配置されるなど，手厚いサポート体制であること。

（6）プログラム面

スマートフォン用アプリケーションや，ゲーム，Web サイトなどに係るプログラミングスキルを習得するコースに加えて，映像やアニメーション，イラストなどデジタルクリエイティブスキルを学ぶコースも提供されること。

コースについて，未学者も含めて基礎からスキルを習得できると共に，参加者各人の独創性を発揮したオリジナル作品の創出まで導けること。

参加者間のコミュニティ形成に向けて，デジタルスキル習得のカリキュラムとは別にアクティビティなど付随プログラムも提供されること。

参加者が制作したオリジナル作品について，他の参加者に対して共有・発表する場が設けられ，成果を承認する機会が設けられていること。

受講後に参加者からのアンケート等により参加を通じた効果が測定・分析・報告されること。

運営に係る業務

- ・運営計画（カリキュラム）の作成
- ・講師および指導補助員等の募集，手配，指導，管理
- ・会場設営，撤去ならびに機材管理
- ・教室および講座開催当日のスケジュール管理

2 その他必要事項について

参加対象者，使用するプログラミング言語，使用するロボット等の教材，開催当日のタイムスケジュールなど，その他の必要な業務について提案すること。

【参考図面等】

- ・参考図 はこだてみらい館見取り図（はこだてみらい館 館内マップ）

はこだてみらい館 館内マップ

